

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

(薬品名)	ディナゲスト錠 0.5mg
(英名)	Dienogest
(規格・含有量)	1錠中ジエノゲスト 0.5mg
(一般名)	ジエノゲスト
(メーカー名)	持田製薬株式会社
【薬価収載日】	2020年5月
【薬価】	1錠 166.50円
【薬効コード】	2499
【薬効分類名】	月経困難症治療剤
効能・効果	月経困難症
用法・用量	通常、成人にはジエノゲストとして1日1mgを2回に分け、月経周期2～5日目より経口投与する。
禁忌	<p>診断のつかない異常性器出血のある患者[類似疾患(悪性腫瘍等)のおそれがある。]</p> <p>妊婦又は妊娠している可能性のある女性</p> <p>本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>高度の子宮腫大又は重度の貧血のある患者[出血症状が増悪し、大量出血を起こすおそれがある。]</p>
相互作用	<p>本剤作用増強 CYP3A4 阻害剤; エリスロマイシン、クラリスロマイシン、アゾール系抗真菌剤; イトラコナゾール、フルコナゾール等</p> <p>本剤作用減弱 CYP3A4 誘導剤; リファンピシン、フェニトイン、フェノバルビタール、カルバマゼピン等</p> <p>卵胞ホルモン含有製剤; エストラジオール誘導體、エストリオール誘導體、結合型エストロゲン製剤等</p> <p>プロゲステロン作用が増強のおそれ 黄体ホルモン含有製剤; プロゲステロン製剤、メドロキシプロゲステロン酢酸エステル製剤、ノルエチステロン製剤、ジドロゲステロン製剤等</p>
副作用	<p>重大な副作用 重篤な不正出血、重度の貧血、アナフィラキシー</p> <p>その他 不正出血</p>

(薬品名)	アネレム静注用 50mg 向	市販直後調査;2020年8月~2021年2月
(英名)	Remimazolam Besilate	
(規格・含有量)	1バイアル中レミマゾラムとして50mg	
(一般名)	レミマゾラムベシル酸塩	
(メーカー名)	ムンディファーマ株式会社	
【薬価収載日】	2020年5月	
【薬価】	1バイアル 2,218円	
【薬効コード】	1119	
【薬効分類名】	全身麻酔剤	
効能・効果	全身麻酔の導入及び維持	
用法・用量	<p><導入></p> <p>通常、成人には、レミマゾラムとして 12 mg/kg/ 時の速度で、患者の全身状態を観察しながら、意識消失が得られるまで静脈内へ持続注入する。なお、患者の年齢、状態に応じて投与速度を適宜減速すること。</p> <p><維持></p> <p>通常、成人には、レミマゾラムとして 1 mg/kg/ 時の速度で静脈内への持続注入を開始し、適切な麻酔深度が維持できるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を適宜調節するが、上限は 2 mg/kg/ 時とする。なお、患者の年齢、状態に応じて投与開始速度を適宜減速すること。覚醒徴候が認められた場合は、最大 0.2 mg/kg を静脈内投与してもよい。</p>	
禁忌	<p>本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>急性閉塞隅角緑内障の患者[抗コリン作用により眼圧が上昇し、症状を悪化させることがある。]</p> <p>重症筋無力症の患者[筋弛緩作用により症状を悪化させることがある。]</p> <p>ショックの患者、昏睡の患者、バイタルサインの抑制がみられる急性アルコール中毒の患者[呼吸抑制、低血圧を増強させることがある。]</p>	
相互作用	<p>血圧低下や覚醒遅延を起こすおそれ</p> <p>中枢神経抑制剤</p> <p>麻酔・鎮静剤;プロポフォール、デクスメトミジン、ケタミン、セボフルラン等</p> <p>麻薬性鎮痛剤;レミフェンタニル等</p> <p>抗不安剤等;ヒドロキシジン等</p> <p>局所麻酔剤;リドカイン等</p> <p>アルコール(飲酒)</p>	
副作用	<p>重大な副作用 依存性、徐脈、低血圧、呼吸抑制、覚醒遅延、ショック、アナフィラキシー</p> <p>その他 悪心、嘔吐</p>	
備考	第三種向精神薬 習慣性医薬品	

(薬品名)	トリンテリックス錠 10mg・20mg 劇
(英名)	Vortioxetine Hydrobromide
(規格・含有量)	1 錠中ボルチオキセチン 10mg・20mg
(一般名)	ボルチオキセチン臭化水素酸塩
(メーカー名)	武田薬品工業株式会社
【薬価収載日】	2019 年 11 月
【薬価】	1 錠 10mg; 168.90 円 20mg; 253.40 円
【薬効コード】	1179
【薬効分類名】	セロトニン再取り込み阻害・セロトニン受容体調節剤
効能・効果	うつ病・うつ状態
用法・用量	通常、成人にはボルチオキセチンとして 10 mgを 1 日 1 回経口投与する。なお、患者の状態により 1 日 20 mgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は 1 週間以上の間隔をあけて行うこと。
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤(セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩及びサフィナミドメシル酸塩)を投与中又は投与中止後 14 日間以内の患者
相互作用	セロトニン症候群のおそれ MAO 阻害剤;セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩、サフィナミドメシル酸塩 リネゾリド、メチルチオニウム塩化物水和物(メチレンブルー) セロトニン作用薬;トリプタン系薬剤;スマトリプタンコハク酸塩等、選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤(SNRI)、セロトニン前駆物質(L-トリプトファン)含有製剤又は食品、トラマドール塩酸塩、炭酸リチウム等 セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品等 本剤の血中濃度が上昇のおそれ CYP2D6 阻害剤;パロキセチン塩酸塩水和物、キニジン硫酸塩水和物等 本剤の血中濃度が低下のおそれ 肝薬物代謝酵素(CYP3A4/5、CYP2C19、CYP2C9、CYP2C8 及びCYP2B6)の誘導作用を有する薬剤;リファンピシン、カルバマゼピン、フェニトイン等 出血傾向が増強のおそれ 出血傾向が増強する薬剤;非定型抗精神病剤、フェノチアジン系抗精神病剤、三環系抗うつ剤、アスピリン等の非ステロイド系抗炎症剤、ワルファリンカリウム等 本剤投与中は飲酒を避けさせることが望ましい。
副作用	重大な副作用 セロトニン症候群、痙攣、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH) その他 悪心、傾眠、頭痛、めまい、下痢、便秘、嘔吐

(薬品名)	エンレスト錠 100mg・200mg	市販直後調査;2020年8月~2021年2月
(英名)	Sacubitril Valsartan Sodium Hydrate	
(規格・含有量)	1錠中サクビトリルバルサルタン 100mg・200mg	
(一般名)	サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物	
(メーカー名)	ノバルティスファーマ株式会社	
【薬価収載日】	2020年8月	
【薬価】	1錠 100mg;115.20円 200mg;201.90円	
【薬効コード】	219	
【薬効分類名】	アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)	
効能・効果	慢性心不全 ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る。	
用法・用量	通常、成人にはサクビトリルバルサルタンとして1回50mgを開始用量として1日2回経口投与する。忍容性が認められる場合は、2~4週間の間隔で段階的に1回200mgまで増量する。1回投与量は50mg、100mg又は200mgとし、いずれの投与量においても1日2回経口投与する。なお、忍容性に応じて適宜減量する。	
禁忌	<p>本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>アンジオテンシン変換酵素阻害薬(アラセプリル、イミダプリル塩酸塩、エナラプリルマレイン酸塩、カプトプリル、キナプリル塩酸塩、シラザプリル水和物、テモカプリル塩酸塩、デラプリル塩酸塩、トランドラプリル、ペナゼプリル塩酸塩、ペリンドプリルエルブミン、リシノプリル水和物)を投与中の患者、あるいは投与中止から36時間以内の患者</p> <p>血管浮腫の既往歴のある患者(アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬又はアンジオテンシン変換酵素阻害薬による血管浮腫、遺伝性血管性浮腫、後天性血管浮腫、特発性血管浮腫等)</p> <p>アリスキレンフマル酸塩を投与中の糖尿病患者</p> <p>重度の肝機能障害(Child-Pugh分類C)のある患者</p> <p>妊婦又は妊娠している可能性のある女性</p>	
相互作用	<p>血管浮腫があらわれるおそれ アンジオテンシン変換酵素阻害薬;アラセプリル、イミダプリル塩酸塩、エナラプリルマレイン酸塩、カプトプリル、キナプリル塩酸塩、シラザプリル水和物、テモカプリル塩酸塩、デラプリル塩酸塩、トランドラプリル、ペナゼプリル塩酸塩、ペリンドプリルエルブミン、リシノプリル水和物</p> <p>非致死性脳卒中、腎機能障害、高カリウム血症及び低血圧のリスク増加がバルサルタンで報告されている アリスキレンフマル酸塩(糖尿病患者に投与する場合)</p> <p>腎機能障害、高カリウム血症及び低血圧を起こすおそれ アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬</p> <p>他剤の血中濃度が上昇するおそれ アトルバスタチン</p> <p>血圧低下が認められたとの報告 PDE5阻害剤;シルデナフィル等</p> <p>血清カリウム値及び血清クレアチニン値が上昇するおそれ カリウム保持性利尿薬;トリアムテレン、スピロラクトン、エプレレノン等</p> <p>カリウム補給製剤;塩化カリウム</p> <p>血清カリウム値が上昇するおそれ ドロスピレノン・エチニルエストラジオール、スルファメトキサゾール・トリ</p>	

	<p>メトプリム、シクロスポリン</p> <p>急激な血圧低下(失神及び意識消失等を伴う)を起こすおそれ 利尿降圧剤;フロセミド、トリクロルメチアジド等</p> <p>腎機能を悪化させるおそれ 非ステロイド性消炎鎮痛剤(NSAIDs);インドメタシン等</p> <p>リチウム中毒を起こすおそれ リチウム</p> <p>副作用が増強されるおそれ シクロスポリン、クラリスロマイシン、エリスロマイシン</p> <p>本剤作用減弱 ビキサロマー</p>
副作用	<p>重大な副作用 血管浮腫、腎機能障害、腎不全、低血圧、高カリウム、ショック、失神、意識消失、無顆粒球症、白血球減少、血小板減少、間質性肺炎、低血糖、横紋筋融解症、中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑、天疱瘡注、類天疱瘡、肝炎</p>

(薬品名)	デエビゴ錠 5mg	市販直後調査;2020年7月~2021年1月
(英名)	Lemborexant	
(規格・含有量)	1錠中レンボレキサント 5mg	
(一般名)	レンボレキサント	
(メーカー名)	エーザイ株式会社	
【薬価収載日】	2020年4月	
【薬価】	1錠 90.80円	
【薬効コード】	119	
【薬効分類名】	不眠症治療薬	
効能・効果	不眠症	
用法・用量	通常、成人にはレンボレキサントとして1日1回5mgを就寝直前に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日1回10mgを超えないこととする。	
禁忌	<p>本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>重度の肝機能障害のある患者</p>	
相互作用	<p>本剤作用増強 CYP3Aを阻害する薬剤;イトラコナゾール、クラリスロマイシン、エリスロマイシン、フルコナゾール、ベラパミル等</p> <p>本剤作用減弱 CYP3Aを誘導する薬剤;リファンピシン、フェニトイン等</p> <p>中枢神経系に対する抑制作用の増強のおそれ 中枢神経抑制剤;フェノチアジン誘導体、バルビツール酸誘導体等</p> <p>精神運動機能の相加的な低下を生じるおそれ アルコール(飲酒)</p>	
副作用	その他 傾眠	

後発医薬品採用通知

変更後	変更前
<p>● <u>10月1日より</u></p> <p>プロマゼパム錠 5mg「サンド」</p> <p>バルサルタン錠 80mg「サンド」</p> <p>エスタゾラム錠 1mg「アメル」</p> <p>エスタゾラム錠 2mg「アメル」</p> <p>シプロキサシン点滴静注液 400mg/200mL「ニプロ」</p>	<p>レキソタン錠 5mg</p> <p>ディオバン錠 80mg</p> <p>ユーロジン錠 1mg</p> <p>ユーロジン錠 2mg</p> <p>シプロキサン注 400mg/200mL</p>

削除医薬品通知

セボフレン吸入麻酔液	10/1 削除
スプレキユア点鼻液 0.15%	10/1 削除
ボルタレンサポ 12.5mg	10/1 削除